

## 1 背景と課題

### (1) 背景

人口減少や経済の縮小傾向などの社会環境の変化により、博物館に求められる期待と役割が多様化。

### (2) 平出博物館における課題

#### ①利用者の減少

- ・市内からの来館者が半数以下。
- ・講座参加者の固定化。

#### ②孤立した博物館

- ・博物館・市民相互の活動を補完する日常的な連携がない。
- ・点在する市内の博物館との連携が希薄。

#### ③施設の老朽化

- ・建設から60年以上が経過した施設の老朽化。
- ・現行法の耐震基準を満たしていない。
- ・土砂災害警戒区域に立地する。

#### ④マネジメントの不足

- ・混在する多様な業務が効率的な運営を阻害。

## 新しい博物館の整備が必要

## 2 新しい博物館のあり方

### (1) 新しい博物館の使命と役割

#### 【使命】 地域文化の創造

#### 【役割】

##### ●地域遺産の継承と活用

地域遺産の調査収集・保管の成果を市民に還元かつ活用し、未来へつなぐ

##### ●人づくり

市民の誇りと市域をいつくしむ心を育み、創造性あふれる豊かな人づくりを行う

##### ●地域づくり

基幹博物館として市民が地域遺産を活用し、住みやすく活力ある地域づくりを支援する

### (2) 目指す博物館像

## 過去に学び 未来へつなぐ みんなの博物館

新しい博物館は、市域に積み重ねられた人々の営みと風土を対象とする歴史系の博物館とします。

塩尻ならではの歴史や文化を多様な人・機関・組織などが関わり、継承・創造し、未来を拓いていくことを目指します。

## 3 事業方針

### — 人・地域・歴史を結び 未来へつなぐ —

先人の築いてきた歴史・文化を継承しながら、新たな地域の文化を創造し、未来の市民や地域にしっかりとつないでいく事業を展開する。

#### ①まもる (収集・保管)

- ・適切に収集・保管し、市民が「地域の宝」を身近に感じられるよう配慮する。

#### ②さぐる (調査・研究)

- ・学芸員や他機関との連携による調査・研究に加え、市民とともに地域遺産を掘り起こし郷土に対する愛着を育むような事業を展開する。

#### ③みせる (展示)

- ・実物資料が持つ情報を引き出し、当時の暮らしを考えることができる展示を目指す。

#### ④まなぶ (教育普及)

- ・子どもたちが体験学習等を通じて地域遺産をまなぶことを主体とし、学校と連携して企画する。また多様な世代と連携し、人づくり・地域づくりにつながる機会の創出を図る。

#### ⑤つながる (交流と創造)

- ・人や活動がつながり交流できる場を創出する事業を行う。

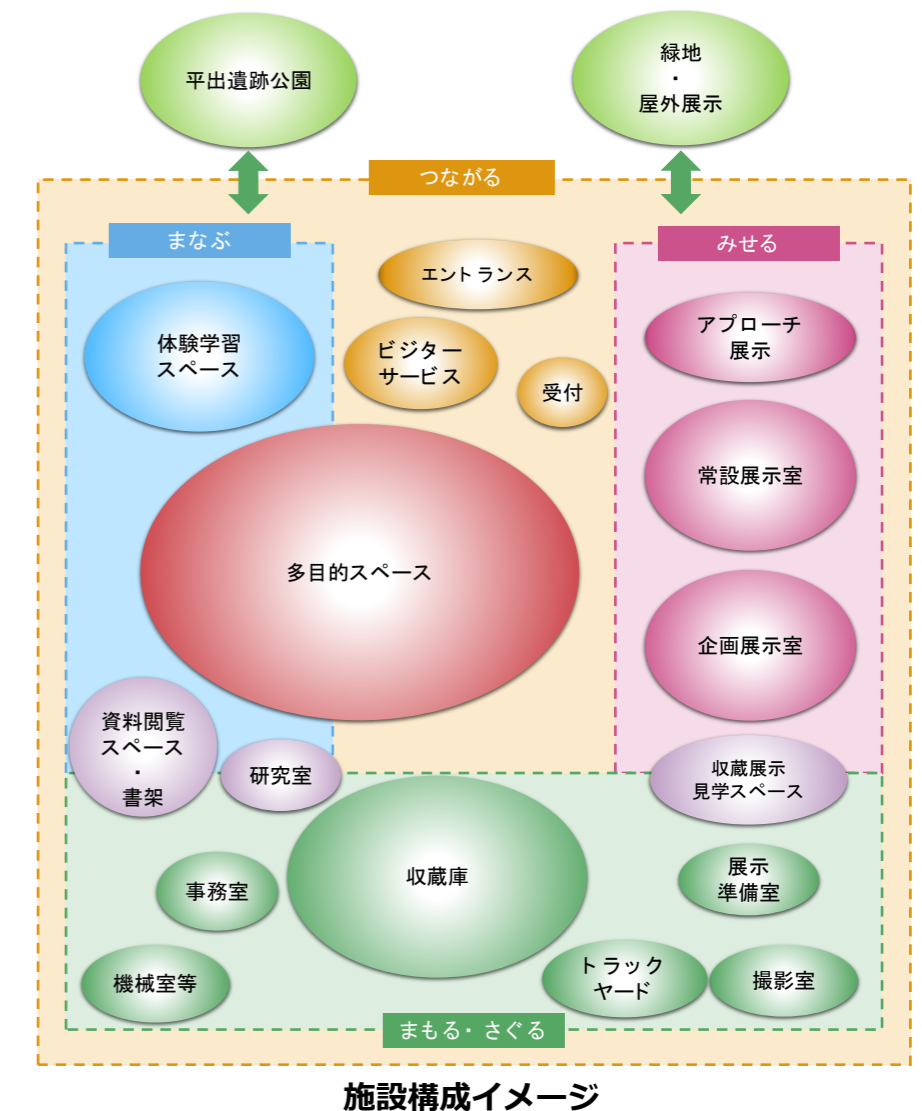
## 4 整備方針

事業を展開できるための機能を備え、誰もが気軽に訪れ、楽しみ・対話し、参加できる環境を整え、人・モノ・活動が交流するオープンな博物館を整備する。

## 5 整備地区選定の考え方

次の要件を満たす場所として、平出遺跡公園周辺を選定する。

- ①遺跡公園との一体的な利用が可能なこと。
- ②集客及び利便性の優れた場所であること。
- ③まちづくりの波及性、都市ブランドの形成に適した場所であること。



## 6 運営方針

効率的で持続的な管理運営を図り、多様な人・組織・機関などが積極的な関わりを持てるよう運営する。

- ①ともに成果を分かち合える人々が運営に参加できる体制を目指す。
- ②市内に点在する博物館の基幹的な役割を担うため、学芸員を適正に配置する。